



学校だより

(9月号) 令和2年8月17日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
 - ・進んで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子
- 《今月の生活目標》 時間を守ろう

土 台

校長 河井 尚

本日から令和2年度の第2学期が始まります。夏休みはいかがでしたか。例年よりずいぶん短くなりましたが、各ご家庭で有意義で充実した時間を過ごしたことと思います。まだ暑い日が続きそうです。皆様、どうぞ、ご自愛ください。

新開小学校の児童の皆さんは新学期を迎えるに当たっての「心と身体の準備」はできているでしょうか。気持ちを引き締め、(新しい生活様式が続く中ですが) 一日のリズムを平常に戻して、よいスタートを切ってほしいと思います。2学期は「飛躍と発展」の学期です。

先日、ひょんなところで旧友に遭遇しました。彼は日本史が大好きで、ひとしきり歴史談義に花を咲かせました。彼が唐突に「徳川政権はなぜあんなに長くもったのだろう」と問いかけたことがきっかけでした。最後の武家政権となった徳川政権は、徳川家康が将軍職に任じられた1603年(慶長8年)から1867(慶応3)年までの長期政権となりました。(幕府の始期及び終期については諸説あります。)
「三代続けば末代続く」という言葉もありますが、初代家康が基礎づくりをして、三代家光のころに体制の土台がさらに強固となり、15代、260年に及ぶ過去に例がない長期政権となりました。



「土台のないところに家は建たない」という言葉があります。広辞苑で「土台」を調べると、①木造建築物の最下部にあって上部の重みを支える横材。②建造物の最下部をなす部分。いしすえ。③物事の基本。もと。基礎。とあります。「スカイツリー」や日本一の高層ビル「あべのハルカス」の土台はさぞかし立派なものだろうと想像します。

徳川政権(組織)にせよ建造物や建築物にせよ、強固な土台がないと砂上の楼閣になってしまいます。このことは学習やスポーツも同様です。各教科の「基礎・基本」、スポーツにおける「基礎体力」や「基本技術」の習得は極めて重要です。これらを身に付けるには質量ともに高い反復練習が必要になりますが、この反復練習はつらい。テニスの錦織圭選手も基礎の反復練習を「嫌いですねー」と言っていました。



しびらきっ子の皆さんも、学習やスポーツに日々努力していることと思います。どちらも反復練習を徹底的に行い、基礎・基本という土台を揺るぎないものにした上で応用問題や発展練習につなげることが「飛躍と発展」に向けた最良最善の道だと思います。頑張ってください。応援しています。最後に錦織圭選手の言葉です。

「本当に単純なチャンスボールの反復練習をすごくたくさんやってきたので、まあそのおかげで試合中にも絶対ミスしない自信をつけたり、大事なところで自分から打っていけるようにそこでしっかり自信を得られたと思うので、本当に大事な練習だったと思う。」